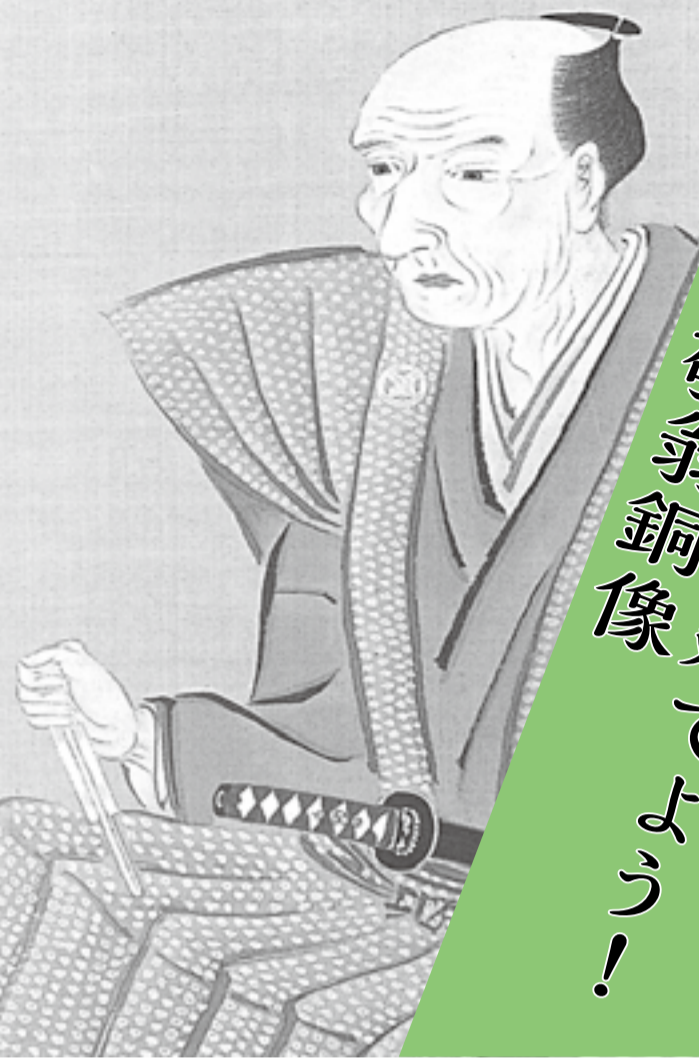


# みんなの手で建てよう！ 伊能忠敬翁銅像



企画画政策課 ☎(50)1206

平成30年は、全国を測量し、正確な日本地図を作成した伊能忠敬没後200年です。その功績を後世に伝えるため、伊能忠敬翁銅像建立委員会（木内志郎会長）が発足しました。

多くの皆さんの募金が資金となりますので、ぜひ、ご協力をお願いします。

また、銅像は市内出身の彫刻家木内禮智氏が制作し、佐原駅南口ロータリーに平成30年春ごろに建立予定です。銅像の詳細は今後委員会で決定します。

- 目標額 2400万円
- 募集期限 平成29年9月30日まで
- 募金額 2000円以上
- ※募金箱の場合は2000円未満でも可能です
- ※5万円以上で希望する人は台座に募金者名を刻印します
- 募金方法
- ◇振り込み
  - 市役所・各支所・伊能忠敬記念館・京葉銀行（佐原・小見川・成田支店）にある専用払込用紙で、金融機関（郵便局以外）の窓口で振り込めます。
  - ※市役所・小見川支所にある京葉銀行窓口でも振り込めます
  - ※振込手数料は、京葉銀行で振り込む場合以外は自己負担です
- ◇募金箱
  - 市役所・各支所・伊能忠敬記念館に設置しています。
- 税法上の優遇措置
  - この募金は、国または地方公共団体に対する寄付金と同様に、税法上の優遇措置を受けることができます。優遇措置を受けるには領収書が必要ですので大切に保管してください
  - ※専用払込用紙以外で振り込むと優遇措置を受けられない場合があります

## 地域の「人」と「農地」の問題解決のために「人・農地プラン」の作成を

農政課 ☎(50)1258

市の平成27年度の農家数は4029戸となり、平成22年の5546戸から5年間で約3割減少しています。また、販売農家数3339戸のうち同居農業後継者のいる農家は1099戸で、約7割の販売農家は後継者がいません。農業従事者の平均年齢は、66.7歳になっており、農業労働力の変化などで地域農業の将来に不安を感じている地域が増えています。

地域農業の将来への危機感を地域の皆さんで共有し、行動を起こすことが解決への第一歩です。

「人・農地プラン」とは、地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」が「人・農地プラン」です。これは、地域農業の維持や発展、農地を保全することを目的として作成します。

地域によるアンケート調査や話し合いによって、

- ①今後、地域農業で中心となる経営体（個人、法人、集落営農）はどこか
- ②中心となる経営体にとのように農地を集めるか
- ③中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めた地域農業のあり方

などを決めていただきます。

市の作成状況

現在、市内では24の農業集落・地域において、「人・農地プラン」が作成されています。

「人・農地プラン」作成後は、地域ぐるみで農地中間管理機構（※）を活用することで、担い手への農地集積が進み、地域農業の維持や発展、農地の保全につながります。

※農地所有者と農業経営者の間に立ち、借り受けと貸し出しを行う「受け皿」です。

作成後は農地中間管理機構を活用しましょう

市では、地域内の農家などの話し合いから作成までを支援しています。「人・農地プラン」作成については、農政課へ相談ください。

## 11月から 小見川駅前広場整備工事を実施します

都市整備課 ☎(50)1232

市では、魅力ある小見川市街地を形成するため、小見川駅前広場の整備工事を実施します。なお、整備完了は平成30年度の予定です。

今年度の工事期間内は、駐輪場・ひまわり駐車場が使用できません。そのため、仮設駐輪場・仮設駐車場を設置します。大変ご迷惑をおかけしますが、工事へのご理解、ご協力をお願いします。

■工事期間  
11月上旬～平成29年3月31日

■仮設駐輪場設置期間  
11月1日～平成29年3月31日

■仮設ひまわり駐車場設置期間  
12月1日～平成29年3月31日

工事箇所および仮設駐車場・仮設駐輪場位置図

